

まちの話題・市民の活躍

9/7

沖縄市から世界へ平和をつなぐ

2019 沖縄市民平和の日
記念行事を、沖縄市民会館で
開催しました。

第一部では、「沖繩戦」、「米
軍統治下の沖繩」、「9月7日」
をテーマに、沖繩市平和大使
が沖繩戦体験者の証言などを
基に作成した紙芝居の朗読や
平和のメッセージの発信、平
和大使ソングの「時代の語り
部」を、手話を交えての合唱
を行いました。

第二部では、平和をテーマ
とした琉神マブヤーショーを
とおして、こどもたちに平和
の大切さを伝えました。

会場では、平和大使がさま
ざまな研修をとおして学んだ
事などをまとめ作成した「平和
大使新聞」も展示されました。

74年前の1945年9月7
日、米軍と南西諸島の日本軍
守備軍との間で降伏調印式が
行われ、沖繩戦が公式に終結
しました。沖繩市では、沖繩
戦終結の9月7日を平和に向
けた新たな第一歩を踏み出し
た日として「沖繩市民平和の
日」と条例で定め、毎年9月
7日に記念行事を実施してい
ます。



8/17

さらなる繁栄を願う

胡屋きょうゆう会と仲宗
根共有会の伝統行事「獅子舞
の道じゅねー」が、胡屋・仲
宗根地域で行われました。

旧暦の7月17日に厄払い
や五穀豊穡 地域の繁栄をも
たらす行事として執り行わ
れており、約180年前に始
まり、戦争で一時中断しまし
たが昭和53年に復活し、今年
で42回目を迎えました。

旗頭を先頭に三味線、太
鼓、ドラ鐘などと列をなし練
り歩き、勇ましい獅子が地域
住民の厄払いを行いました。



8/10

FC琉球ホームゲームで 平和祈念

FC琉球ホームゲームの
V・ファーレン長崎戦は「ピ
ースフルマッチ」として開
催され、原爆が投下された
長崎と戦場となった沖繩の
チームだからこそできる平
和への思いを発信しました。
歴代の沖繩市平和大使等
によるブースを設置し、平
和に関する絵本等の読み聞
かせやパネル展のほか、選
手や来場者にその場で書い
てもらった平和のメッセー
ジも展示しました。



8/17

次代を担うこどもたちに 見せたい姿がある

沖縄市青年団協議会の
神里興常会長等が、社会福
祉法人国際福祉会美さと児
童園を訪れ、第41回沖繩市
青年まつりのスタンド席の
招待券60枚と4枚の駐車券
を美さと児童園の稲嶺勇理
専長へ贈呈しました。

青年まつりへの招待は、
児童園のこどもたちがエイ
サーを踊る青年会のにーに
ーたちの姿を見て、青年会
活動に興味を持ってもらえ
るようにと8年前から続け
られています。



8/28

チバリョー!! FC琉球

2019シーズンからJ
2で新たなスタートをきっ
た、沖縄市をホームタウンと
するFC琉球を応援しよう
と、市役所で、応援ポロシャ
ツ11着と売上金額の一部を
仲本副市長からFC琉球の
三上昂代表取締役社長と上
門知樹選手へ贈呈しました。
応援ポロシャツは、市役
所オリジナルで、職員から
457枚の注文があり、多く
の職員がポロシャツを着て
FC琉球を応援しています。



まちの話題・市民の活躍

8/14 9連覇達成！10連覇に期待

5月～6月にかけて行われた沖縄県高等学校総合体育大会で、コザ高等学校が9年連続で男女総合1位を獲得したことを、東盛敬校長等が市役所を訪れ、桑江市長、比嘉教育長に報告しました。

東盛校長は「この勢いで来年の10連覇にむけて、子どもたちの実力をますます活性化していきたい。また、スポーツが盛んな沖縄市の活性化に協力していきたい」とあいさつしました。



8/14 喜友名諒選手に続く選手！未来のオリンピック選手

喜友名龍鳳館の喜友名諒館長と選手の皆さんが市役所を訪れ、「第19回九州地区空手道選手権大会」及び「第19回全日本少年少女空手道選手権大会」で上位入賞したことを桑江市長、比嘉教育長へ報告しました。桑江市長は「これだけの成績をおさめたことに自信を持って、今後も喜友名先生にしっかり稽古をつけてもらい、全国をめざして頑張ってください」と激励しました。



8/19 来年も県代表！来年こそ全国制覇！

美里中学校の水泳、体操、吹奏楽、演劇の分野で全国・九州大会に出場した生徒、顧問、宮里佳克校長が市役所を訪れ、県代表として大会に出場して思ったことや来年の目標等を比嘉教育長に報告しました。

比嘉教育長は「美里中学校の生徒だけでなく、市内8つすべての中学校の生徒の励みになり、皆のあこがれになっている」と激励の言葉を送りました。



9/1 生まれ五輪機運!!

市出身で空手日本代表の喜友名諒選手をゲストに迎え、「沖縄市から世界へ！応援しよう日本代表」東京2020オリンピック開催まであと1年」と題したイベントを、コザ・ミュージックタウン音楽広場で開催しました。イベントでは、喜友名選手と仲本副市長によるカウントダウンカレンダー除幕式、喜友名選手と宮島真一さんによるトークライブ等を行いました。



8/17 若きリーダーたちの成長

集団生活を通してリーダーとしての自覚を高め、今後の学校生活等に役立てることを目的に、7月27日より数回に渡り行われたインリーダー研修会の集大成として、産業交流センターで、「この研修を通して、これから私達ができること」と題した研修発表会を開催しました。発表会では、参加した市内の小学5・6年生21人を含む32人が、研修で学んだことや今後の目標等を発表しました。



9/10 お互いの文化を学び友情を深める

中部広域圏の児童と山形県最上広域圏の児童40人との歓迎交流会が、うるま市で行われました。環境の異なる両広域の児童達が交流を行い、未来の中部地域を担う児童を育成することを目的としており、今年で30回目の受け入れとなります。交流会では、自己紹介をしながらの名刺交換やお互いの伝統芸能を披露するなど交流を楽しみました。



まちの話題・市民の活躍

9/6

5年に1度の交流を報告

山内中学校の男子バスケットボール部と越來中学校の女子バスケットボール部の生徒、両学校の顧問、山内中学校の大舩勝彦校長先生が市役所を訪れ、比嘉教育長等へ8月3日から5日に行った沖繩市制45周年・東海市制50周年記念スポーツ交流事業の報告をしました。交流事業は、5年に一度行われています。

報告会では、比嘉教育長から両学校の生徒に、記念のバスケットボール等が贈られました。



8/19

市民による明るい街づくり

市民自らの手による明るく住みよい街づくり運動や沖繩全島エイサーまつりに向けて、市内団体などから198人が参加し、コザゲート通り、グランド通り、胡屋くすの木通りなどの市内メイン通りの一斉清掃を実施しました。

今回の清掃作業で、可燃ごみ180kg、不燃ごみ15kg、かん8kg、びん13kg、ペットボトル7kgの総量223kgが回収されました。



9/8

あなたに救える命がある

沖繩市消防本部・沖繩市消防団の主催により、救急の日（9月9日）及び救急医療週間（本年度は9月8日～14日）にちなんで「沖繩市消防・救急・防災フェア2019」を沖繩県総合運動公園体育館で開催しました。

避難訓練、AEDと心臓マッサージの応急手当体験のほか、シャツを使った応急タンカ作りコーナー等があり、参加者は楽しみながら、消防や救急、防災についての知識を深めました。



8/23

被害者にも加害者にもならないために

近年多発している高齢者の交通事故防止を図ること等を目的に、泡瀬公民館で、泡瀬自治会主催の高齢者に向けた交通安全教室が開催されました。

沖繩警察署交通対策課の指導のもと、実践を交えた講話や交通安全診断車「かりゆしII号」を使った運転体験のブース等がありました。参加した30人近くの高齢者は、真剣に話を聞き、時には悲鳴を上げながら体験していました。



8/19

災害時に生き抜く力を育む

小中学生とその保護者を対象に、こどもたちの自助の力を高めること等を目的に「2019沖繩市避難行動要支援者避難支援事業ワークショップ」を桃山公園内体験学習施設やまっちで開催しました。災害や防災等についての講演の後、新聞紙とダンボールを使った避難所用のスリッパ作りの実習等もあり、参加者は、楽しみながら防災についての知識を深めました。



8/15

「また来年」市役所でウークイ

旧盆の期間にあたる8月13日から15日までの3日間、市役所でも重箱や果物等を供え、納骨堂に合祀されている無縁仏を供養しました。

8月15日のウークイでは、桑江市長がウチカビを燃やした後、桑江市長、與那嶺副市長等が合掌し、無縁仏の冥福を祈りました。

市では、コザ市時代より約50年間、身元不明の遺骨など約1400柱を市納骨堂に合祀しており、清明祭や旧盆行事で供養しています。

